



コミュニティ・スクールだより

市Webページ

3つ目の柱 保護者・地域に届く情報発信の充実

情報発信の工夫によるコミュニティ・スクールの取組の浸透に向けて取り組まれている好事例を紹介します。

1. 見初小学校 「ホームページや学校便りを活用した情報発信」

見初小学校では、ホームページのトップメニューにある「地域学校協働活動」の中に、コミュニティ・スクールの情報を載せ、積極的に更新しています。また、学校便りの裏面に「コミスクだより」というコーナーを設けるなど情報発信に努めています。

さまざまな協働活動はもちろん、学校運営協議会の協議の様子や話し合われた内容も掲載されています。

学校運営協議会で話し合われたことが、保護者や地域住民に見えてくることで、協働活動の目的や方向性が共有され、コミュニティ・スクールに対する理解が進むものと考えられます。



2. 常盤地区社会教育推進委員会 「SNS を活用した情報発信」

常盤地区社会教育推進委員会では、取組の様子や協働活動、地域行事の様子が地域住民にできるだけ早く届くようにSNSを活用しています。「tokiwano_wa」これまで活動に参加していなかった人も、SNSで実際の活動の様子を見ることができ、興味をもつきっかけとなります。

また、SNSを活用することで幅広い校種・世代への情報発信となり、地域活動の活性化につながるよう工夫しています。



見てね！



インスタグラム



フェイスブック



とくわの輪 水曜日

本日、常盤小学校6年生75人は常盤海岸にて、海岸清掃とマイクロプラスチック調査を通して海洋汚染の現状を体験しました。9:30から約1時間常盤海岸にて作業をし、その後常盤小学校体育館にて宇部市視察環境政策課 福田さんによる鑑賞が12時までありました。児童の皆さんは熱心にマイクロプラスチックの実態および海洋汚染の現状の説明を聞いてました。... もっと見る



なお、市の Web ページにも市内各地域で行われている地域学校協働活動の様子を掲載しています。紙面上記にある二次元コードよりご覧いただくことができ、社会教育推進委員会の活動は、右の二次元コードよりご覧いただけます。

